

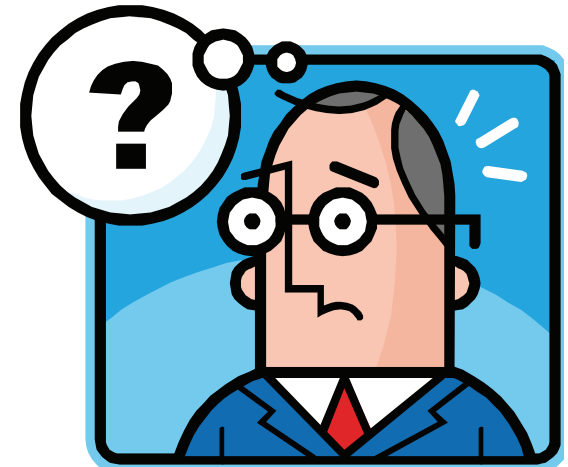


Cの世界

3班: マネジメント
(企画立案・運営・授業評価)

数々の失敗・・・

- 人が集まらない
- 受講者が寝ている
- タイムリーじゃない
- 学生のレベルに合わない(レベルがマチマチ)
- 忘れる・身につかない
- 講演準備の作業量が膨大
- 効果的なアンケートが取れない
⇒ 過去の蓄積が活かさない



効率的な教育支援のための PDCAサイクルの把握

P(企画):

学習習得目標の設定とそれに応じた支援方法の策定する。

D(運営):

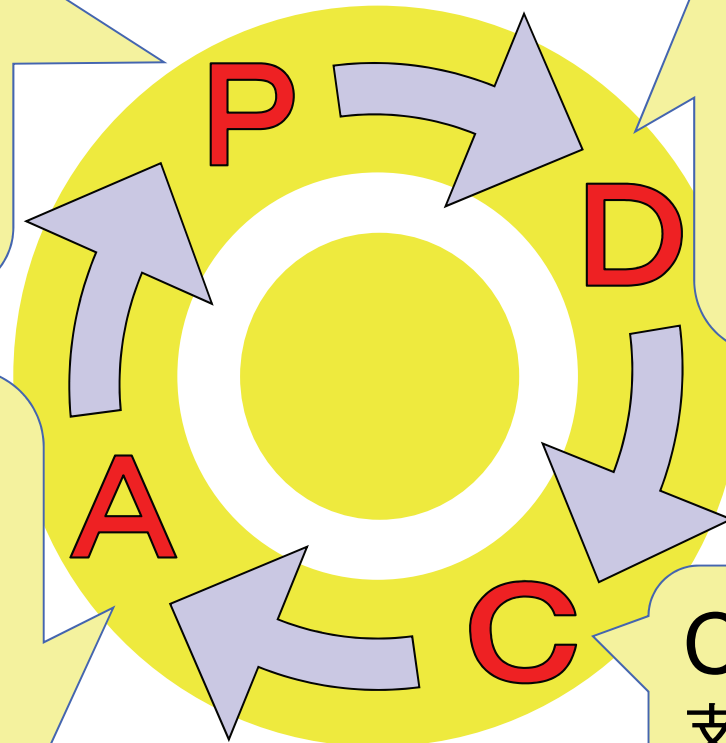
支援内容をユニット化/マニュアル化し図書館の職務形態に適應させる。

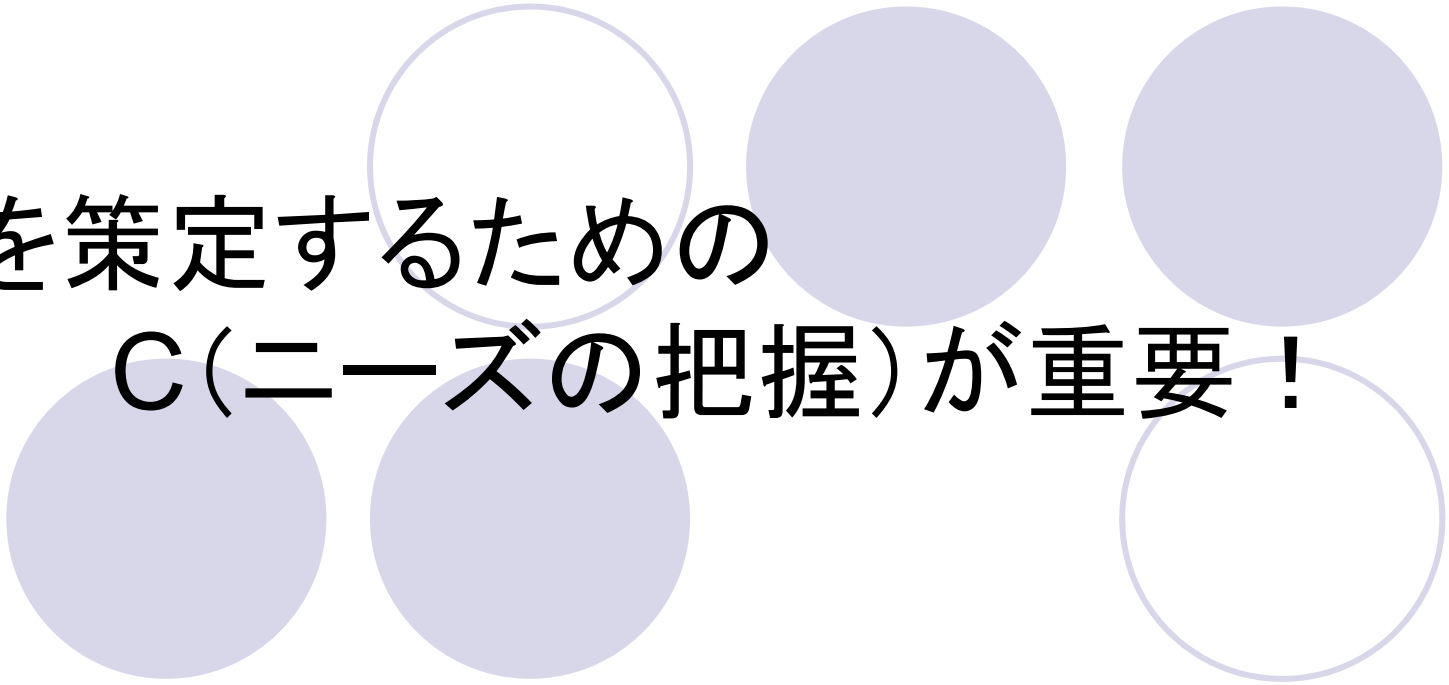
A(改善・行動):

教員、大学との連携。
※教員へのデモンストレーションなどでまず図書館の存在と取り組みの認知度を上げる。

C(点検・評価):

支援内容を評価する。
ニーズを把握する。





Pを策定するための
C(ニーズの把握)が重要！

ニーズ把握の方法(1/2)

- 座談会開催・インタビュー
- アンケート作成(社会学の教員などと連携)
 - ※Lib Qual(ライブ・クォール)
- レファレンスを蓄積
- カウンターから見ていて(聞いていて)感じる
こと

ニーズ把握の方法(2/2)

- 偵察・写真撮影
- 学内他部署が把握している学生ニーズを教えてください
- 定点観測
- 教職の学生にガイダンスをみてもらい、評価してもらおうと同時に、インタビュー、アンケートでニーズも掘り出す。

把握できるニーズ

- 学生のレベル
- 学生の勉強スタイル
- 学生が使用している資料・ツール
- 学生が必要な資料・ツール
- 学生の興味・関心
- 最適な開催時期
- 場の有用性

把握したニーズから・・・

⇒プロフィールができる！！！！

- いつ
- だれに
- どこで
- なにを
- どのように

把握したニーズが… 良い企画のタネになる



ご静聴ありがとうございました！